

防災・減災のページ

巡回ワークショップ @宮城・山元 つばめの杜地区

むすび塾

進行役を務めた被災・復興支援機構(東京)の木村拓郎

「(66)が「役場まで行くより、地区にとどまることが安全ではないか。高齢者が多く、安否確認に重点を置いた方がいいだろう」と語った。

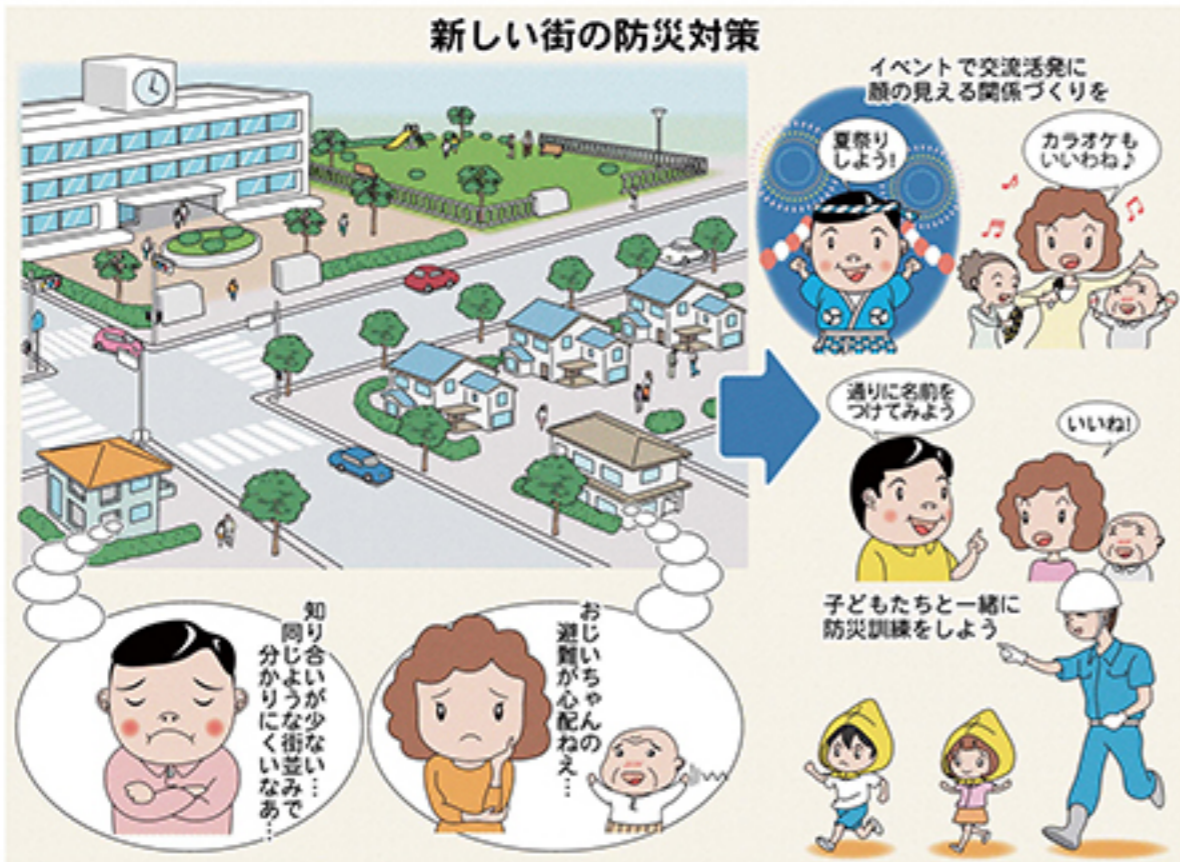
「(66)が「役場まで行くより、地区にとどまることが安全ではないか。高齢者が多く、安否確認に重点を置いた方がいいだろう」と語った。

「(66)が「役場まで行くより、地区にとどまることが安全ではないか。高齢者が多く、安否確認に重点を置いた方がいいだろう」と語った。

集団移転地の防災対策

つばめの杜地区は12月末に再開予定のJR常磐線山下駅近く、新しい住宅が立ち並ぶ。住民の交流は始まったばかりで、町内会の安否確認リストの作成や避難訓練はこれから。災害時の対応を巡り、高齢者の避難を心配する声も相次いだ。

顔の見える関係を構築を



新しい街の防災対策

イベントで交流活発に顔の見える関係づくりを



理事長は「災害の際に町内会の本部を設置する場所や役割を分担、役場の連絡手段などを基本のなことを固めておくのが対策の第一歩だ」と助言した。

【災害に備えて】建物の密集化で火災が心配。花巻行政の経験に基づき防災訓練を...

【災害に備えて】体の不自由な高齢者の避難には近隣の区長の経験に基づき防災訓練を...

【参加して】防災の課題や二大を知らず、住民アンケートが必要だ。みんなが防...

【災害を経験して】水はも新しいまちづくりの担い手に若い世代への期待は大きい...

【参加して】防災を含めた新しいまちづくりの担い手に若い世代への期待は大きい...

むすび塾に参加して



【参加して】災害公営住宅のある地区は10戸のうち7割が高齢者で、...

【災害に備えて】一から連絡網を作成したり、援助が必要なら人を把握したりするのは...

【災害に備えて】大半の家を作り付けにしたから、家は海から遠く、...

【災害に備えて】体の不自由な高齢者の避難には近隣の区長の経験に基づき防災訓練を...

【災害に備えて】建物の密集化で火災が心配。花巻行政の経験に基づき防災訓練を...

【参加して】防災の課題や二大を知らず、住民アンケートが必要だ。みんなが防...

【災害を経験して】水はも新しいまちづくりの担い手に若い世代への期待は大きい...

【参加して】防災を含めた新しいまちづくりの担い手に若い世代への期待は大きい...

970人居住新施設も続々

宮城山元町つばめの杜地区は、東日本大震災で被災した住民を対象に、町が町内3カ所に整備した集団移転地の一つ。...



新市街地の防災対策を話し合った「むすび塾」

東日本大震災の教訓を生かすため、河北新報社は防災の巡回ワークショップ「むすび塾」を2012年5月に始めました。...



の鳥ツバメにちなんで決めた。地区の東西をそれぞれ行政区が管轄し、地域活動に取り組んでいる。

■専門家から

街歩きで地区を知ろう

東北工大准教授(地域防災) 福留 邦洋さん
災害時の対応を決めておくことは地区にとって差し迫った課題だ。住民はさまざまなかから集まり、習慣も違う。震災前と同じルールは通用しない。

訓練通じ一体感高めて

減災・復興支援機構専務理事 宮下 加奈さん
新任住民ばかりのこの地区で多くの人が関心を持って取り組めるのが防災だとすれば、まずは防災訓練を実施して一体感を高めたい。...

まちづくりに全員参加

減災・復興支援機構理事長 木村 拓郎さん
新しいまちづくりは全員参加が望ましい。住民の声を反映される仕組みをつくるため、年々2回くらい全戸にアンケートして二大を開くといいたい。...